

## Instagramで「里親」をもっと身近に

ふうせんかずらでは、Instagramで里親制度について発信しています。

里親制度をまだよく知らない方にも、「ちょっと見てみようかな」と気軽に触れてもらえるよう、短い動画(リール)を中心に投稿しています。

最近スタートしたのは、「里親さんからのメッセージ」シリーズ。相模原市で活動している里親さんにアンケートをお願いし、「里親になって良かったことは?」「里親になろうと一歩踏み出したきっかけは?」など、里親さん自身の言葉を紹介しています。

制度を説明するだけでは伝わらない、子どもとの暮らしや里親さんの思い。いろいろな声を、少しずつ届けていきたいと思っています。

このほか、里親制度のこと、相談会やイベント等のお知らせなども発信中!見るだけでも、もちろん大歓迎。「里親にはなれないけれど応援はしたい」等と思ってくださる方、ぜひフォローをお願いします。

## 職員紹介



6月からふうせんかずらで働かせていただいています塚原と申します。

以前は都内の乳児院に勤務していました。退職してからの2年間はマイペースに過ごしていましたこともあり、全くと言っていいほど畑違いの職場に所属で、覚えることや慣れなければならないことが沢山あり目まぐるしい毎日です。

同僚の方々や里親さんたちの熱量が凄く、それには到底及ばないという状況ですが、少しずつ知識や経験を増やし、里親として頑張る方々の支援の一助を担えるよう、自分なりに努力していきたいと思っています。

よろしくお願いします。(ふうせんかずら 塚原)

フォロワーさんから繋がりが増え、たくさんの方にとって頂く機会になります。

QRコードから、是非のぞいてみてください。



## &lt;問い合わせ先&gt;

相模原市里親養育包括支援センター

「ふうせんかずら」

〒252-0231相模原市中央区相模原5-1-20

南栄ビル402 電話 042-704-8433

(平日 土日祝日 午前9時~午後6時)

ふうせんかずら  
ホームページ



## ご寄付お礼

【2026年4月~6月】

株式会社セクメット 瀬戸 誠 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/日本ロードマーク株式会社 様/豊浦 正道 様/金 徳信 様/株式会社スマイル 代表取締役 井上 廣一 様/相模原南地区更生保護女性会 会長 菊地 由喜子 様/公益社団法人 24時間テレビチャリティー委員会 様/木村 一樹 様/株式会社 Gen Mark Corporation サンラッキー相模原店 様/秋田 真名香 様/鈴木 由郎 様/川越 二郎 様/日本 YMCA同盟 様/笹森 美知子 様/神奈川県遊技場協同組合 理事長 伊坂 重憲 様

いつも熱いご支援、ありがとうございます。

## 苦情報告(2026年6月)

## &lt;申し立て内容&gt;

6月17日(水)、施設に隣接している住民より以下の要望がありました。「施設の畑の角(木下様宅玄関付近)に生えている木(垣根)に蜂が巣を作り危ない。

また、車を停めている道路の方の枝木も伸びて車に当たりそうになるため切って欲しい。」

## &lt;事実確認&gt;

申立人のおっしゃられた通りでした。

## &lt;対応&gt;

苦情の報告を受け、直ぐに垣根を伐採して承諾頂きました。定期的に、剪定作業をしていきます。

## 相模原南児童ホーム通信



## こどもたちの笑顔と成長に出会えた夏

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームでは、日々、こどもたちが学校生活や友だちとの関わり、さまざまな行事や体験を通して、一歩一歩成長しています。

「所長さん、25m泳げるようになったよ!」

「山梨キャンプ、楽しかったよ!」

「美容師職業体験、勉強になったよ!」

こどもたちと過ごしていると、昨日までできなかったことができるようになったり、誰かに優しい言葉をかけたり、自分の気持ちを少しずつ言葉にできるようになったりと、一人ひとりの小さな成長に出会うことがあります。

私たち職員が大切にしているのは、そうした一つひとつの「できた」を認め、こどもたちが「自分は大切にされている」と

感じながら、安心して毎日を過ごせる環境をつくることです。今年の夏も、地域の皆様をはじめ、関係機関の皆様、ボランティアの皆様から、さまざまな体験の機会をいただきました。普段の生活ではなかなか経験できないことに挑戦し、目を輝かせながら楽しむこどもたちの姿を見ることができました。

こうした一つひとつの経験は、こどもたちの「やってみたい」という気持ちや、「やればできる」という自信につながり、これからの成長を支える大切な力になっていくものと思います。そして、多くの皆様とのつながりによって、こどもたちの毎日の生活が支えられています。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

## 第13回みなみっこまつりの開催についてのご案内

相模原南児童ホーム 副所長 手塚 賢二



第12回みなみっこまつりの様子

日頃より、地域の皆様におかれましては、相模原南児童ホームの運営に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

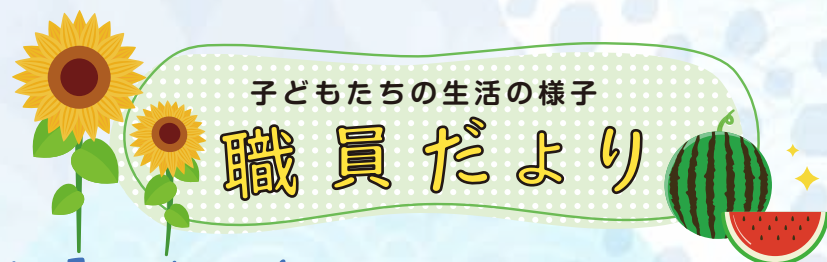
第13回みなみっこまつりを2026年10月25日(日)10時~13時で開催することになりました。

今年のみなみっこまつりのテーマは「感謝を伝えよう」です。こどもたちが考案した飲食メニューやステージ発表等盛りだくさんの企画を考えております。

子どもたち一人ひとりが主役となり、地域の方々との交流を通して自己肯定感や社会性を育むと共に、地域と施設がお互いに支え合う関係を深めていくことを願っております。

そして将来、「地域から支えられる施設」ではなく、「地域を支える施設」になることを目指していきます。

皆様是非、万障繰り合わせの上、ご来場いただけると幸いです。



## 卓球大会に出場しました

7月中旬に、神奈川県内の児童福祉施設による、卓球大会が行われました。今年度は小学生6名、中学生1名、高校生1名、小学生と職員のダブルス1組が出場しました。

大会に向けては、平日や休日の夜に約1時間半、また日中の空いている時間をつかい、練習を重ね、一人ひとりが目標を持って取り組みました。専門的な指導者がいない環境ではありましたが、子どもたちが互いに教えあい、時には卓球ができる職員と、時には所長や副所長と練習し、試行錯誤を繰り返しながら技術を磨いていきました。練習を重ねるごとに少しずつ上達する姿を見て、子どもたちの吸収力と成長を肌で感じました。

大会当日は、5名が1回戦を突破し、高校生部門では見事3位入賞という素晴らしい成績を収めました。一方で、惜しくも敗れた子どもたちは、想像以上に悔しさをにじませていました。その表情からは、日々の練習に真剣に向き合い、本気で勝利を目指していたことも伝わりました。

この卓球大会を通して、勝敗だけでなく、努力を積み重ねることの大切さや挑戦することの喜びを子どもたちは学ぶことが出来たと思います。同時に、職員としても、子どもたちがさらに成長できる環境を整え、子どもたちが挑戦する想いに応え、支えていきたいと強く感じました。(児童課 二瓶)



## 流しそうめんを行いました

今年も夏の行事として流しそうめんを行いました。毎年当法人の高齢者施設である中心荘第一・第二老人ホームから長い竹をお借りしているのですが、子どもたちに「そうめんの竹を借りに行くの手伝ってくれる人ー?」と聞くと数名の児童が元氣よく「行くー!!!」と一緒に行ってくれました。実際に竹を見ると「ながーい!!」「早くそうめんやりたい!!!」と期待をし、準備の段階で楽しみにしている子どもたちの様子がありました。

また、そうめんだけではなく事前に子ども部会で子どもたちに何が食べたいのかアンケートを取り栄養士さんと相談してその日のメニューを決めました。特に人気だったのがからあげ、ポテトです。

意外なところでは「オクラやきゅうりを一緒に流したい!」とあがりました。実際にそうめんと一緒に流しましたが、中々掴めず苦戦する姿もありましたがそれぞれ楽しい思い出となりました。

楽しかった時間はあっという間でしたが、好きな物をたくさん食べることができて大満足の1日となりました。(児童課 関)



## 乳児ユニットの様子



猛暑が続き外へのお散歩が難しい日が続いていますが、この時期乳児ユニットでは施設内での水遊びをして過ごしています。最初は冷たい水に驚く姿もありましたが、今ではすっかり慣れ、パシャパシャと水を弾いたり玩具のじょうろで水を掛けたり、水に玩具を浮かべたりと、涼みながら思い思いに楽しんでいます。お散歩に出られないもどかしさを吹き飛ばすように、子どもたちの楽しそうな笑顔と歓声が広がっています。

今後も室温や温度管理、衛生面や安全面に十分配慮しながら、夏ならではの開放的な水遊びを通じて、子どもたちが快適に夏を乗り越えられるよう工夫していきます。(乳児課 佐藤)



## 卒園生の集い

8月11日山の日に卒園生、在園生そしてこれまで施設と一緒に子どもたちの成長を支えてきた退職職員も招き、交流を目的としたバーベキューイベントを開催しました。当日は、久しぶりに施設を訪れた卒園生と在園生と一緒に食事を楽しみ、近況を話したり、ビンゴ大会はかなりの盛り上がりを見せ、世代を超えた交流の機会となりました。また、子どもたちにとっては、懐かしい職員や現職の職員と再会する場となり、思いで話に花が咲きました。退職した職員も子どもたちの成長した姿を見ることができ、温かい雰囲気の中で交流を深めることができました。施設を巣立った後もつながりを持てる場として、今後も継続して開催していきたいと思います。(児童課 前田)



## 職員紹介



7月より入職いたしました、児童課 虹ユニット配属の柏本です。

以前、児童養護施設で勤務していた経験がありますが、ブランクがあるため初心を忘れず、一から学ぶ気持ちで日々取り組んでいます。子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境作りを大切にしながら、日々成長していきたいと思っています。

また、子どもたちが笑顔で過ごせるよう、一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきたいと思っています。至らぬ点も多くありますが、一日でも早く皆様のお力になれるよう精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。(児童課 柏本)

## 職業体験



女子高校生1名が、日広建設さんの事業所にて2日間の職業体験をさせていただきました。1日目は、美容師の方と一緒に子どもたちの髪の毛を結んだり、当施設の中学生の髪の毛を巻いてヘアアレンジをしたりするなど美容師の仕事の体験をさせていただきました。また、中国語での案内表の作成にも取り組みました。

2日目は、請求書のパソコン入力や計算作業のほか、当施設に寄付していただく本を購入しに行き、購入後には本に1冊ずつシールを貼る作業をさせていただきました。2日間の職業体験を通して、さまざまな仕事に触れることができました。特に初めて経験した美容師体験を通して、美容の仕事に興味を持つようになり、将来の進路について考えるきっかけとなる有意義な時間となりました。

このような貴重な体験の場を設けていただき、温かく受け入れてくださった日広建設のみなさま、本当にありがとうございました。(児童課 杉山)

海老名飛鳥ライオンズクラブの皆様のご協力により、7月末に座間市内の小学校のカーテン取り付け作業(職業体験)に高校生が参加させていただきました。初めて職業体験した高校生はやった事が無い作業に戸惑っていましたが、作業をする中でやり方を会社の方に教えていただきながらスムーズに作業を行う事ができました。やってみて「初めての体験だったけど上手に取り付けをする事ができた、また行ってみたい」と話をしていました。自立に向けて良い社会体験になりました。ありがとうございました。(児童課 鈴木)